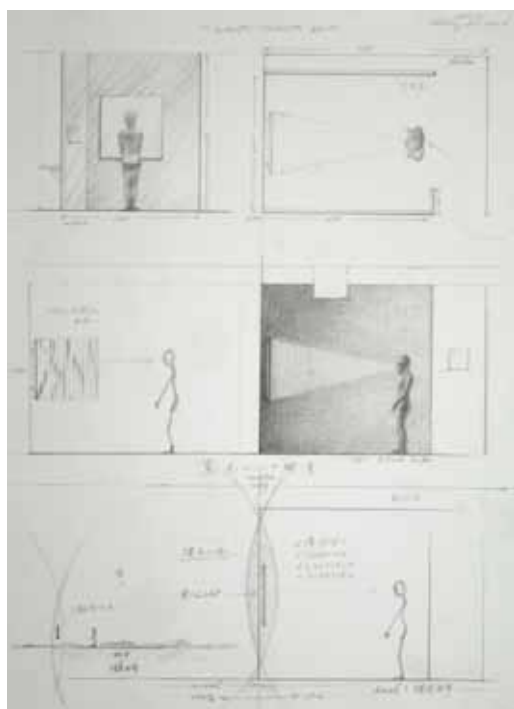


母袋俊也展 MOTAI Toshiya

2011年6月13日(月)～25日(土) 11:30 a.m.～6:30 p.m. (最終日 5:00 p.m.) ギャラリーなつか b.p ※日曜休廊

「Qf・SHOH《掌》90・Holz 現出の場—浮かぶ像—膜状性」

09年から展開している木製パネルの支持体の側面を削り落とした正方形フォーマット〈Qf・SHOH《掌》90・Holz〉の展示である。本展では、画廊内に一回り小さい壁面を黒く塗られた展示空間が設営される。その黒壁＝闇を背景に膜状性としての「絵画」《Qf・SHOH》が浮上する「像」の現出を試みる。プランドローイング群も展示される。



(左) 「M398 Qf-SHOH《掌》90・Holz-1」 90×90cm アクリル・油彩/板 2009 (右) プランドローイング 2011 (撮影: 末正真礼生)

1954 長野県生まれ
 1978 東京造形大学美術学科絵画専攻卒業
 1983 旧西ドイツ国立フランクフルト美術大学
 /シュテーデルシューレ
 絵画・美術理論科 R・ヨヒムス教授に学ぶ
 修了(～'87 帰国)
 1984 水彩<神話の墓>シリーズの開始
 1985 ファイト・ヨハネス・シュトラートマンとの
 共同アトリエ(～'87)
 1986～複数パネル絵画様式の展開
 1988～立川にアトリエを定め、制作を始める
 戸外でのスケッチの再開
 1992 論文「絵画における信仰性とフォーマット
 —偶数性と奇数性をめぐって—」執筆
 陶壁画制作 岡山県新見市、リトグラフ
 ポートフォリオ<Le Ballet> I・II 制作出版
 1995 アトリエを立川から藤野に移す。
 偶数パネル作品を TA 系と命名する
 1996～奇数パネルでの制作
 1997 重要文化財、旧陣屋柏木家襖絵制作
 1999 神奈川県・藤野町にて野外作品
 「絵画のための見晴らし小屋」制作
 2000～東京造形大学教授
 2001～Qf(正方形フォーマット)系の展開

個展
 1979 真和画廊/東京('80)
 1981 シロタ画廊/東京
 1984 ギャラリーヴィレムス/フランクフルト
 1985 シュテーデルシューレ/フランクフルト
 ギャラリーヴィーゼンマイヤー/ヴァイルブルク
 1987 ボン文化センター/ボン、ギャラリープルマン/
 フランクフルト、JAL ギャラリー/フランクフルト
 1990 ストライプハウス美術館/東京
 1991 apt ギャラリー/東京('92'94)、ギャラリーαM/東京
 1992 ギャラリー TAGA/東京('94'96'98'00)
 ギャラリー福山/東京
 1993 ギャラリーエアンドウ/東京('94'96'97'99'01)
 ギャラリーなつか/東京('95'96'99'01'03'05'07'09)
 1995 かわさき IBM 市民文化ギャラリー/神奈川
 1997 ガレリアラセン/東京、ギャラリール・デコ/東京
 ギャラリー You/京都 p.
 1998 ライン・ルーア・クンストアカデミー/エッセン
 2000 ギャラリー毛利/東京
 2001 エキジビション・スペース、東京国際フォーラム/
 東京('05)
 2004 アートフロントギャラリー/東京
 2007 辰野美術館/長野
 2008 INAX ギャラリー/東京